

「エネルギーいっぱい毎日です」

<南風 第4回 5月>

夏の暑さも感じられる5月の下旬になりましたが南っ子は毎日、元気よく楽しく活動しています。子どもたちのパワーに負けないように教員一同もがんばっています。子どもたちが元気よく学習でき、日々成長していく毎日にうれしく思っています。

先日(5月20日)に久しぶりに朝礼がありました。南小の今年度のキャッチフレーズ「にじいろキラキラ」になるための「あ・い・う・え・お」について話しました。「あいうえお」の「あ」について今回は「あいさつ」というテーマで話をしました。4月より毎朝、交通当番で近くの道路に立たせていただき、登校中の子どもたちとあいさつをしています。多くの子どもたちが大きな声であいさつをしてくれる一方で、恥ずかしそうに下を向いて通り過ぎてしまう子もいます。でも、そんな子たちも毎日、声をかけることで、最近では「ぺこり」と頭を下げたあいさつを返してくれるようになりました。

「あいさつ」を漢字で表記すると「挨拶」と書きます。そして、その意味は「心を開いて相手に近づく」という意味があるそうです。よく、「あいさつをしても、返してもらえなかったら・・・」「それなら、自分から先にしなくてもいいや」と考えてしまうことはわかります。でも、それでは、「返してもらえないからしない」と「自分から先にしなくてもいいや」と思っている人の間には、あいさつはうまれません。その人たちの間に「心を開いて近づく」関係は生まれません。自分から、あいさつをすることは、かなり勇気がいることかもしれません。でも、少し勇気を出すだけで、これからみなさんがたくさんのお会う人たちと、とても仲良くなれるチャンスです。たくさんのお友だちをつくるチャンスを自分からのがすのはもったいないと思います。「先にあいさつをした方が勝ち、後にしたから負け」ではありません。自分から自然に周りの人たちにあいさつができるようになると、もっとキラキラ輝く南っ子になれると思います。

大谷翔平選手は自分からあいさつをすることで、周りの人たちも笑顔にでき、自分もみんなと楽しく野球がでるようになることで、もっともっと野球がうまくなれると考えて、自分から周囲の人たちへのあいさつをがんばったそうです。

という内容で話をさせていただきました。大谷選手のエピソードには興味深そうな子も多くいました。あいさつは良好な人間関係を築くスタートだと思えます。話しかけるかどうか迷っても、まずは笑顔であいさつをして一歩目を踏み出すことが大事です。ほんの少しでも良いから、「あいさつの意味」を感じながらあいさつをしてくれることを願い、子どもたちに伝えました。朝礼後、気持ちのよい挨拶をしてくれる子がたくさんいました。ニコニコした顔で相手に聞こえるはつらつとした声のあいさつも見られました。とても嬉しいことです。

次回の朝礼では「あ・い・う・え・お」の「い」の話を考えています。子どもたちにも朝礼の最後に予告をしたところ、口々に「い」のキーワードを予想してくれ、その後、校内で出会った際に「『い』は〇〇かな」聞いてくれる子もいました。5月も元気に終わろうとする南小学校です。